



2020年3月期第1四半期決算説明会資料

2019/08/01

免責事項

- 本資料は、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド（以下：当社）の業界動向、事業内容について、当社による現時点における予定、推定、見込又は予想に基づいた将来展望についても言及しています。
- これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。すでに知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。
- 当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合があります。
- 本資料における将来展望に関する表明は、2019年8月1日現在において利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。



01

ビジネスモデル

.....

4

02

2020年3月期1Q実績

.....

15

03

2020年3月期通期計画

.....

26

04

APPENDIX

.....

36

ビジネスモデル

AI

国内屈指の分析・
コンテンツ自動生成エンジン



CROWD INPUT

大規模なユーザーによる
投稿・閲覧データ



BIG DATA

国内外の
金融経済企業情報



B2C (メディア事業)

当社のコア・テクノロジーである、業界屈指のAIを活用した自動生成技術と国内最大規模のクラウドインプットを活用したコンセンサス情報生成技術の両輪により高い競争力を維持

B2B (ソリューション事業)

メディア事業で培った知見をB2B (B2B2Cを含む) にも応用。コア・テクノロジーで生成される各種コンテンツ・情報に加え、豊富な金融経済企業情報を活用し、金融機関をメインにソリューションサービスを提供

事業

MEDIA

月間UU数

≒ **700万人**

月間訪問ユーザー数

≒ **2,000万人**

独自性の高い投資家向け情報サイトを
国内最大規模で展開

純広告、成果報酬型広告、ネットワーク型広告に加え、ユーザーへの直接課金が成長を支える

SOLUTION

取引会社

100社+

様々な金融商品の分野で、
主に金融機関向けに情報サービスを提供

ASP型サービスでストック型収入中心のビジネス

ASPの導入時には、カスタマイズ開発をスポット収入として取得

事業面での特徴

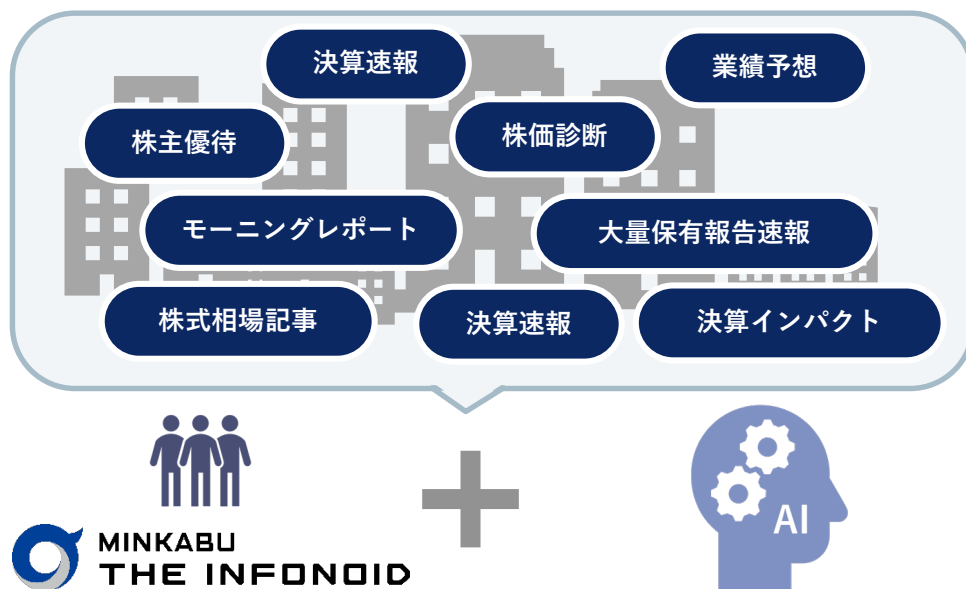
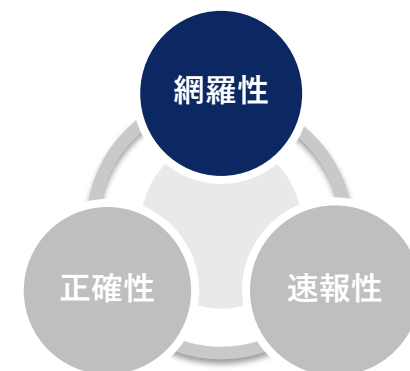
当社の事業面での3つの特徴



事業面での特徴：網羅性

約4,000社の全上場企業の情報を同水準で網羅

- ・ オープンサイトで提供する『**株価診断**』
- ・ 指定した銘柄についてメール配信される『**みんなのモーニングレポート**』
- ・ 決算発表・業績予想修正・配当予想修正を対象としたニュース『**決算速報**』
- ・ 株価に関連した重要事象や株価速報の記事を配信する『**株式相場記事**』
- ・ 株式の大量保有報告書および変更報告の速報である『**大量保有報告速報**』
- ・ 株主名から保有企業株を逆引きする『**日本の株主**』等

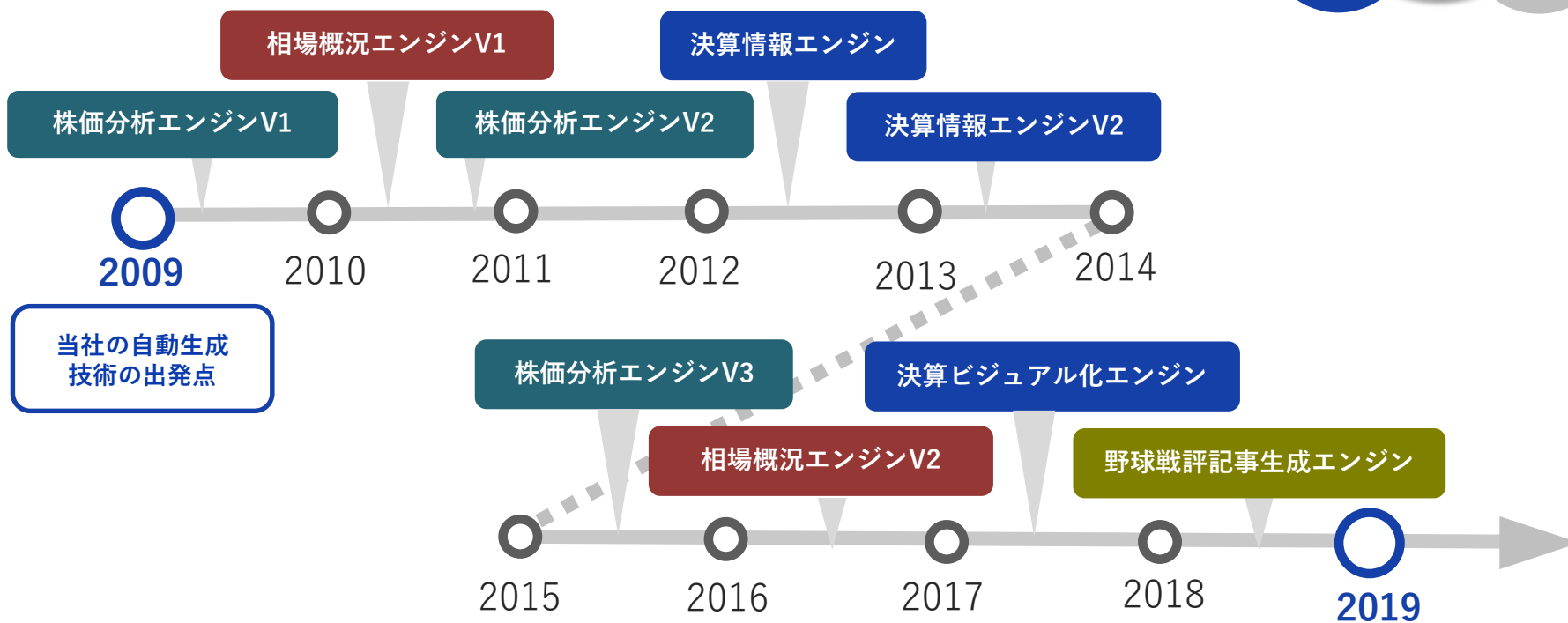
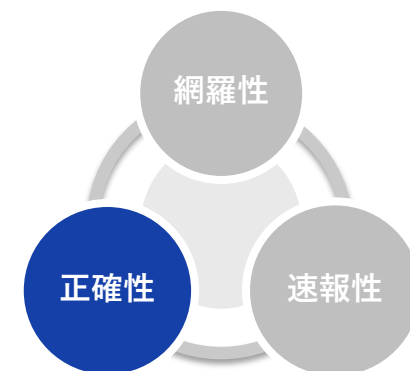


決算インパクトなどの各種ランキングや為替相場記事を含むマクロ情報はもちろん、データを持つ全上場会社、一次情報の発信主体を並列な対象とし、独自のエンジンが注目度や重要性の濃淡を考慮した情報を自動生成して配信

事業面での特徴：正確性

日々更新される膨大な量のデータを扱っても人的ミスが発生しない

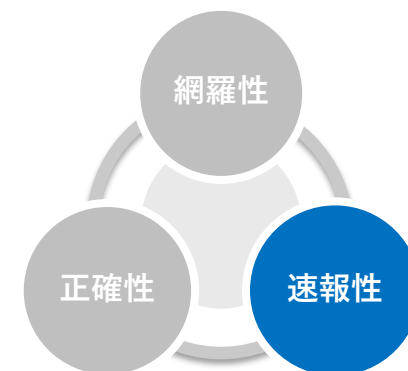
2009年以降、約10年に亘ってAI技術を磨き、品質向上を促進。これにより、自社メディアでの利用だけでなく、多くの金融機関に利用される正確性を持つ情報の自動生成技術に発展



事業面での特徴：速報性

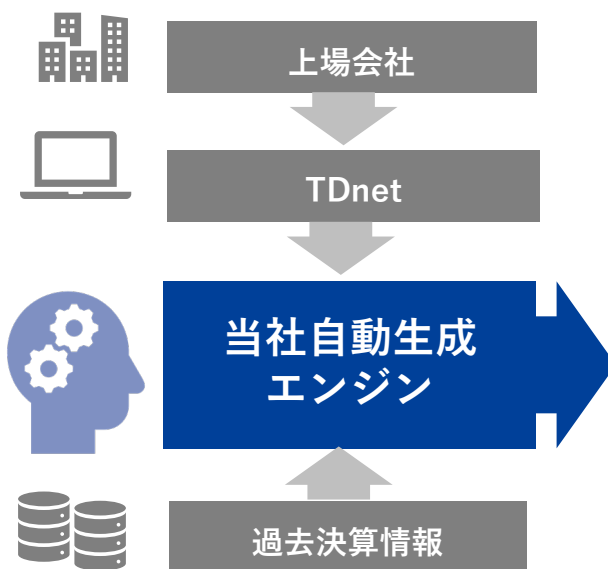
瞬時に情報を配信

情報を取得後、独自の自動生成エンジンを利用して、瞬時に情報を配信。決算速報ニュースであれば、各企業の決算発表からTDnetを通じて瞬時に情報を取得し、決算発表から0分で質の高い記事をどこよりも速く配信



発表から即時に各社の特徴を把握したニュースを発信

例：MINKABU PRESS



2019年2月4日
花王 <4452>決算発表

花王、今期税引き前は9%増で7期連続最高益、10円増配へ

花王 <4452> が2月4日大引け後(15:00)に決算(国際会計基準=IFRS)を発表。18年12月期の連結税引き前利益は前の期比1.4%増の2072億円になり、19年12月期も前期比8.6%増の2250億円の伸びを見込み、7期連続で過去最高益を更新する見通しとなった。3期連続増収になる。

同時に、今期の年間配当は前期比10円増の130円に増配する方針とした。

直近3ヵ月の実績である10-12月期(4Q)の連結税引き前利益は前年同期比2.3%減の653億円となり、売上営業利益率は前年同期の16.4%→16.0%に低下した。

配信時間：2019年2月4日 15：00 (発表から0分)

2019年1月30日
オリエンタルランド <4661>決算発表

OLC、4-12月期(3Q累計)経常が13%増益で着地・10-12月期も19%増益

オリエンタルランド <4661> が1月30日大引け後(16:00)に決算を発表。19年3月期第3四半期累計(4-12月)の連結経常利益は前年同期比13.3%増の1073億円の伸び、通期計画の1148億円に対する進捗率は93.5%に達し、5年平均の85.0%も上回った。

会社側が発表した第3四半期累計の実績と据え置いた通期計画に基づいて、当社が試算した1-3月期(4Q)の連結経常利益は前年同期比55.8%減の74.7億円に大きく落ち込む計算になる。

直近3ヵ月の実績である10-12月期(3Q)の連結経常利益は前年同期比19.0%増の447億円の伸び、売上営業利益率は前年同期の28.2%→30.1%に上昇した。

配信時間：2019年1月30日 16：00 (発表から0分)

業績面での特徴



業績面での特徴

再現性

効率性

拡張性

業績面での特徴：再現性

再現性

効率性

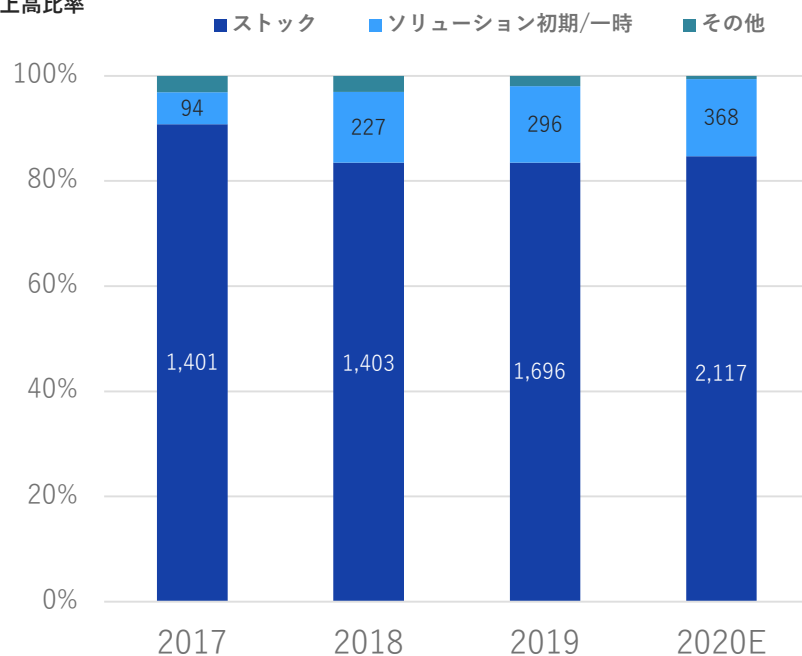
拡張性



毎期80%以上をストック型の売上高で構成しながら成長。

2018年3月期以降、新商材の導入が続くソリューション事業の
初期売上の増加は翌期の固定収入の増加に繋がる

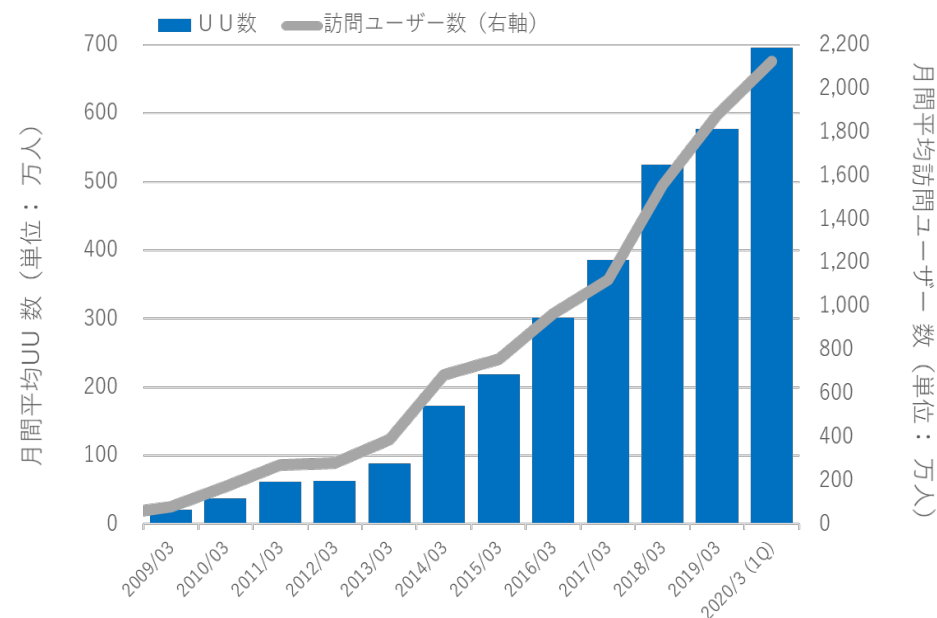
売上高比率



※2017=2017年3月期
 ※2017の数値は連結/2018の数値は連結（未監査）
 ※ストック=ユーザートラフィックから産まれるメディア広告収入+メディア月額課金収入+ソリューション月額利用料、月額保守料
 ※百万円未満切り捨て

成長を続ける当社メディア事業のユーザー基盤

(月間平均UU数、月間平均訪問ユーザー数)



業績面での特徴：効率性

効率性

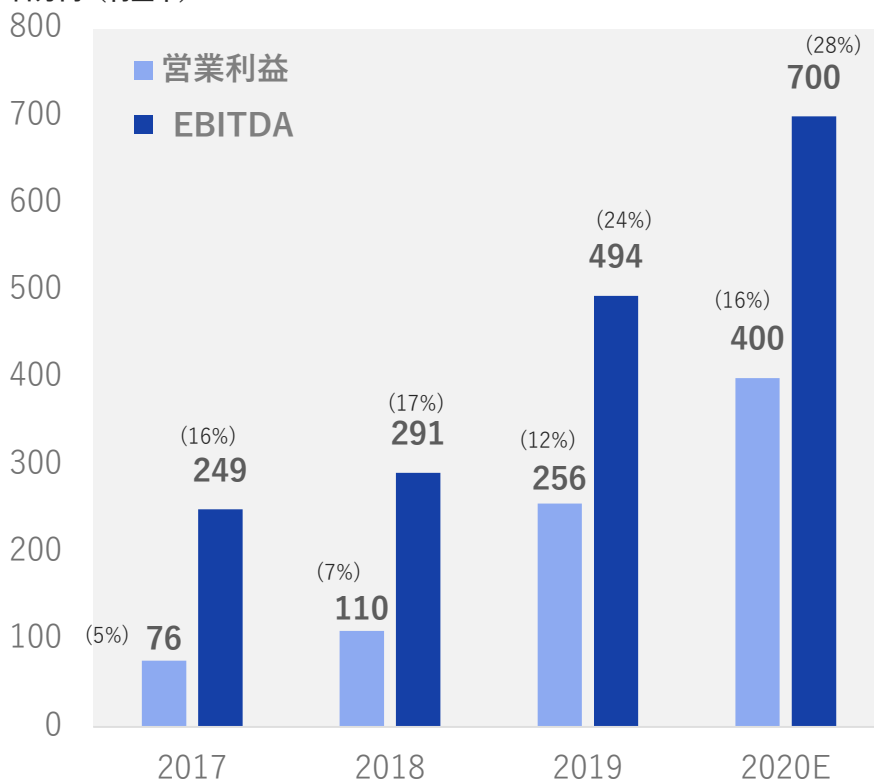
再現性

拡張性



増収により利益率が向上する効率的なモデル

百万円（利益率）



※2017 = 2017年3月期

※2017の数値は連結／2018の数値は連結（未監査）

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

※百万円未満切り捨て

- 人員増や増床等、事業基盤強化で固定費が増加しているものの、当社資産である、金融・経済・企業データ、AIエンジン、ユーザー基盤を活用した収益化のため、ローンチした商材のアップセルは利益に直結
- メディア事業は、ユーザー基盤の拡大を広告収入と月額課金収入で収益化。ソリューション事業は、自社のコンテンツ・サービスをASPモデルで拡販し、初期設定費（スポット）と月額利用料（ストック）で収益化
- サービスの拡充ならびに質の向上のための開発投資を行うことで継続的な収益の拡大を目指していることから、EBITDAの成長を重要視

業績面での特徴：拡張性

拡張性

再現性

効率性



独自の情報技術とそれが産み出す事業上の特徴は、
金融・経済分野だけでなく、スポーツ等、他分野へも応用が可能
将来の業績面での拡張に繋がる

Automation
Expansion
Crowd Input

**Artificial
Intelligence**




01

ビジネスモデル 4

02

2020年3月期1Q実績 **15**

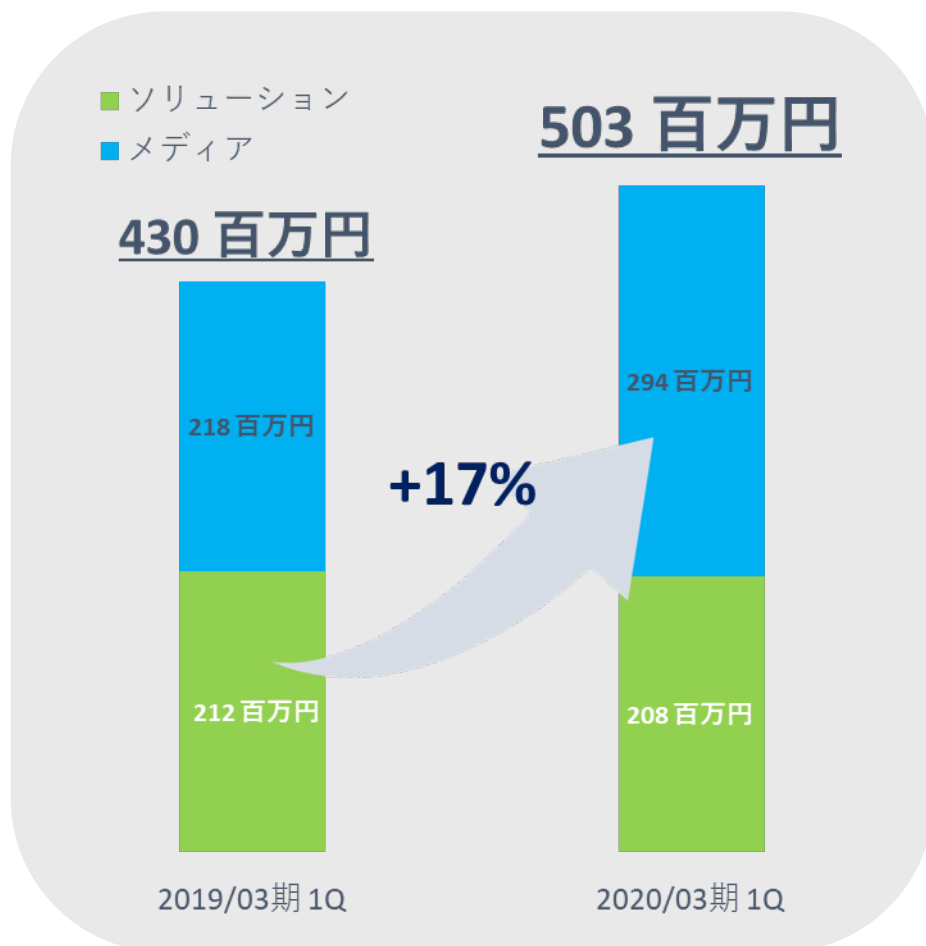
03

2020年3月期通期計画 26

04

APPENDIX 36

売上高 は前年同期比「17%増」



トラフィック増を背景にメディア事業が好調に推移し、全体を牽引

ソリューション事業はストック売上の増大が前年同期に発生した大型スポット売上の反動減を相殺する等、収益構造の好循環を確認

※「2019/03期1Q」の数値は、株式会社東京証券取引所の「有価証券上場規程」に基き、監査法人の四半期レビューを受けた2019年3月期第1四半期の四半期財務諸表を基に、参考情報として記載しております。

※百万円未満切り捨て

固定費増を吸収

- オフィス・インフラ費用
- 人件費
- 減価償却費

211 百万円



2019/03期 1Q

265 百万円



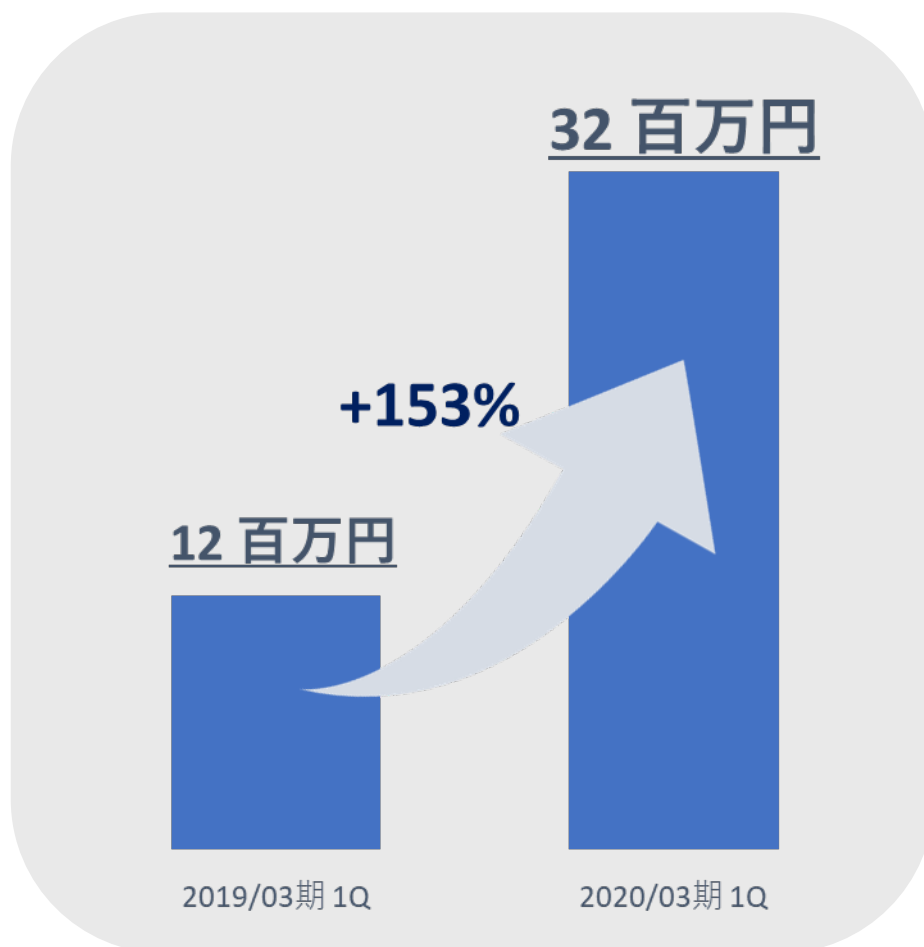
2020/03期 1Q

事業領域拡大に伴う人件費増、
前期下期に実施のオフィス増床
及び、新規サービス等のリリース
に伴うソフトウェア減価償却
の増加により、固定費は増加

※「2019/03期1Q」の数値は、株式会社東京証券取引所の「有価証券上場規程」に基き、監査法人の四半期レビューを受けた2019年3月期第1四半期の四半期財務諸表を基に、参考情報として記載しております。

※百万円未満切り捨て

営業利益 は前年同期比「153%増」 (2.5倍)



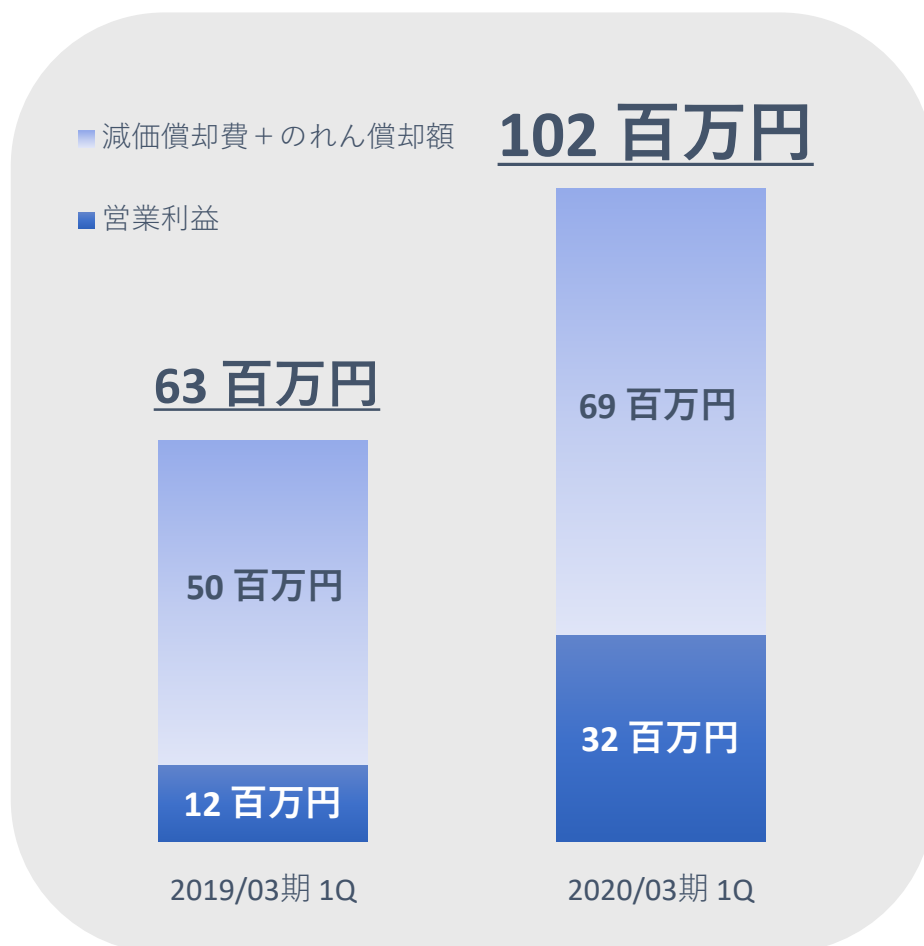
売上増に伴い利益率が改善し、営業利益は前年同期比2.5倍、経常利益は同2倍を達成

収益の再現性、効率性の高いビジネスモデルが奏功

※「2019/03期1Q」の数値は、株式会社東京証券取引所の「有価証券上場規程」に基き、監査法人の四半期レビューを受けた2019年3月期第1四半期の四半期財務諸表を基に、参考情報として記載しております。

※百万円未満切り捨て

EBITDAは102百万円



EBITDAは前期比 + 38百万円の 1 億円

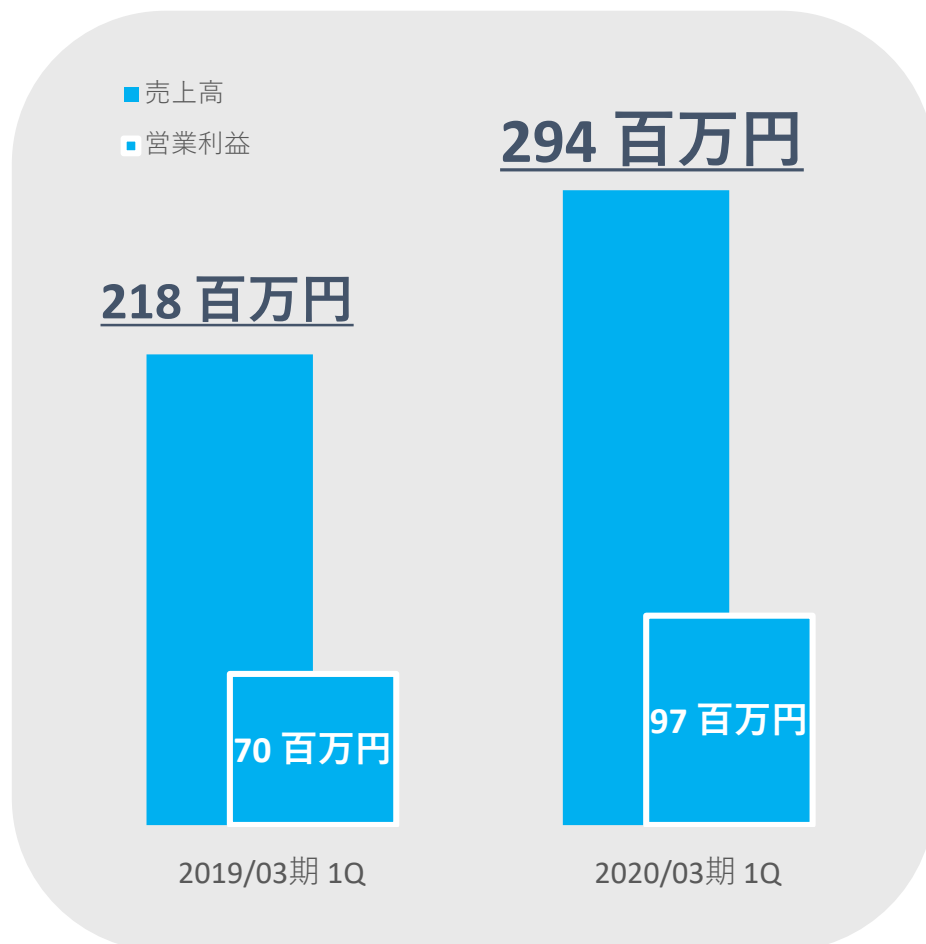
中長期の成長を支えるプロダクト・サービスに係るソフトウェアの順調なリリースを反映し、減価償却費が増加

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

※「2019/03期1Q」の数値は、株式会社東京証券取引所の「有価証券上場規程」に基づき、監査法人の四半期レビューを受けた2019年3月期第1四半期の四半期財務諸表を基に、参考情報として記載しております。

※百万円未満切り捨て

メディア：35%増収・39%営業増益



ユーザー基盤の拡大に伴い、広告収入が好調に推移。課金収入も堅調

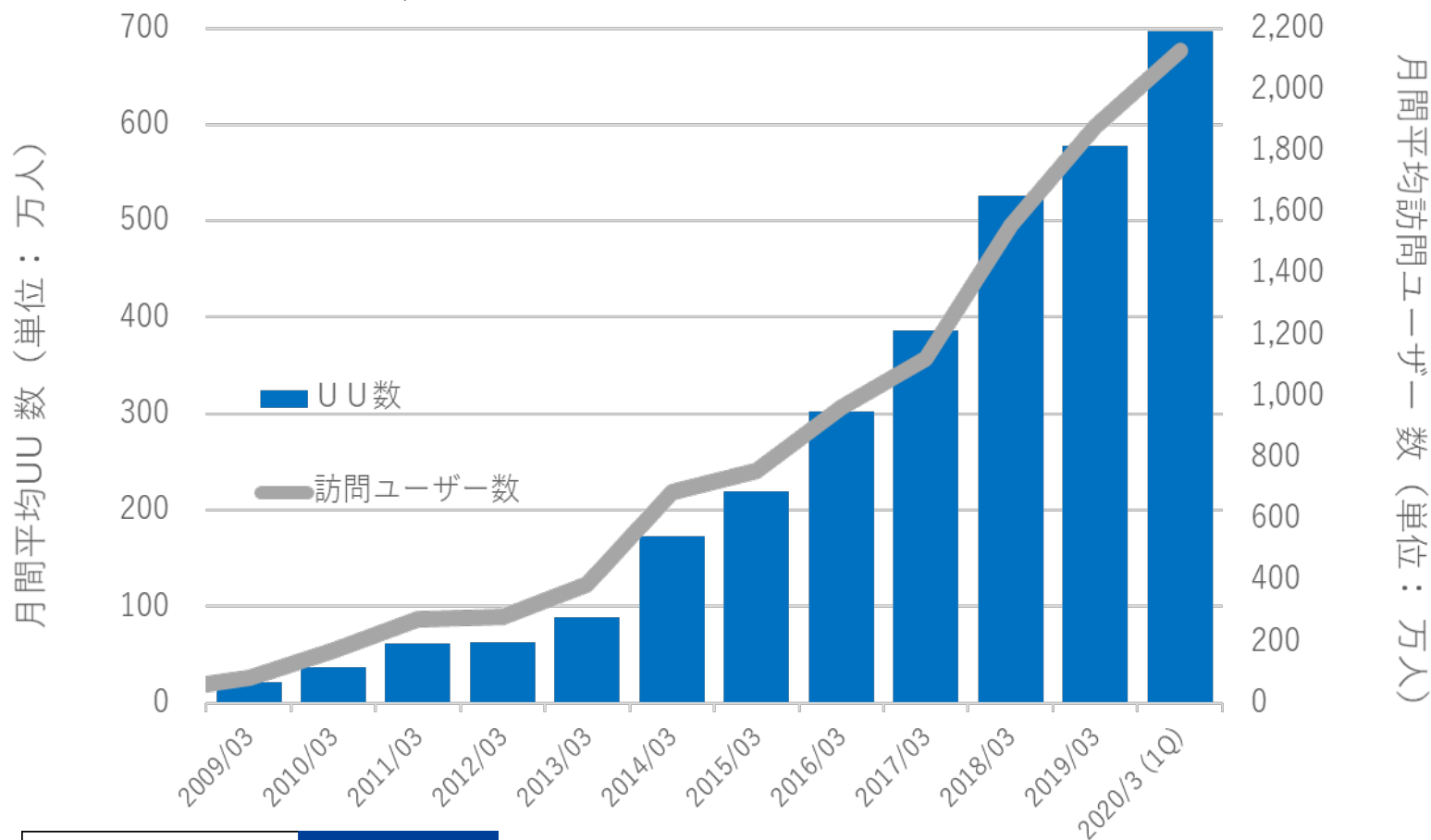
※「2019/03期1Q」の数値は、株式会社東京証券取引所の「有価証券上場規程」に基づき、監査法人の四半期レビューを受けた2019年3月期第1四半期の四半期財務諸表を基に、参考情報として記載しております。

メディア：利用者数は好調に推移

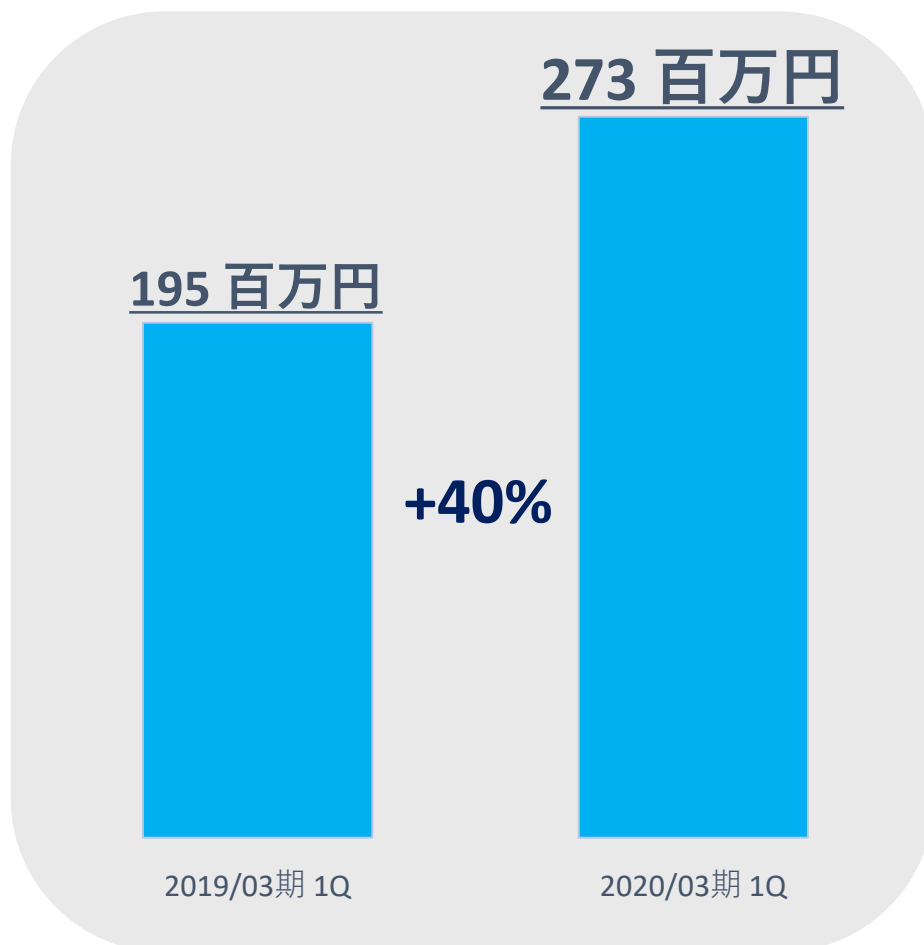
当社自社運営サイト合計月間平均

UU数： 696万人 (前年同期比+17.8%)

訪問者数： 2,120万人 (前年同期比 +8.7%)



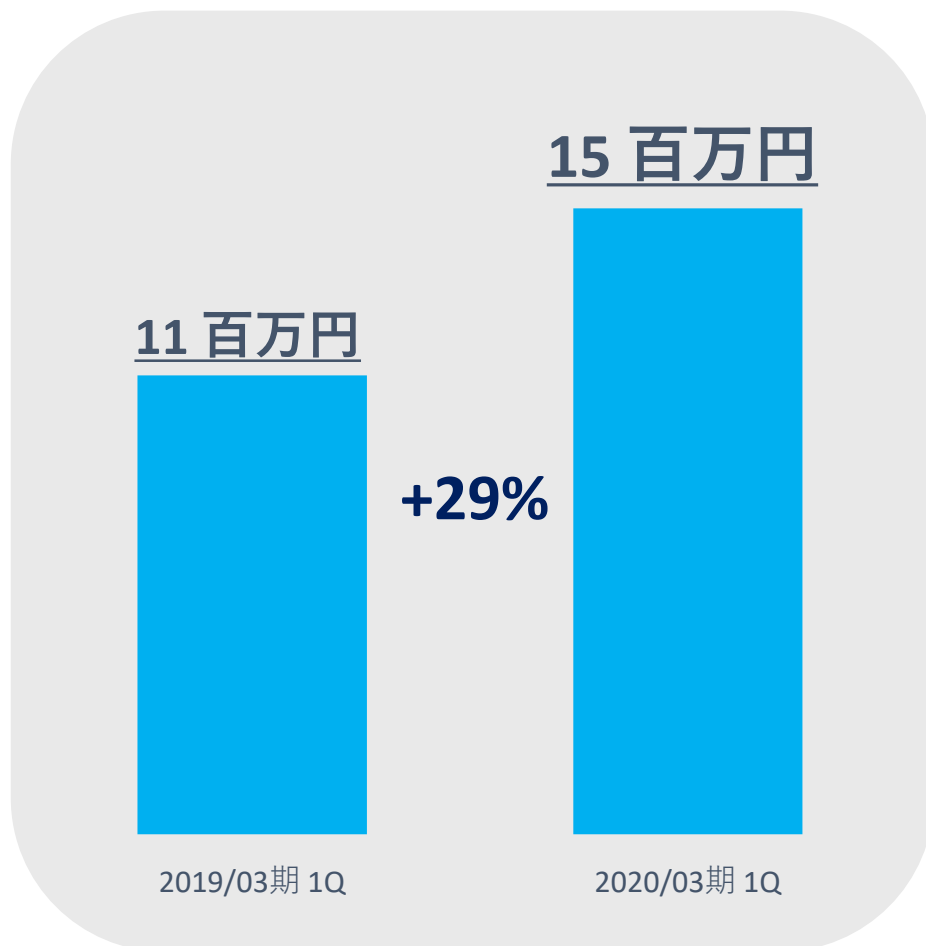
メディア：広告収入40%増



SEO好調によるユーザー数が増大及び
広告単価の上昇等が牽引し、成果型報
酬広告を中心に広告収入は前年同期比
40%増

※「2019/03期1Q」の数値は、株式会社東京証券取引所の「有価証券上場規程」に基き、監査法人の四半期レビューを受けた2019年3月期第1四半期の四半期財務諸表を基に、参考情報として記載しております。

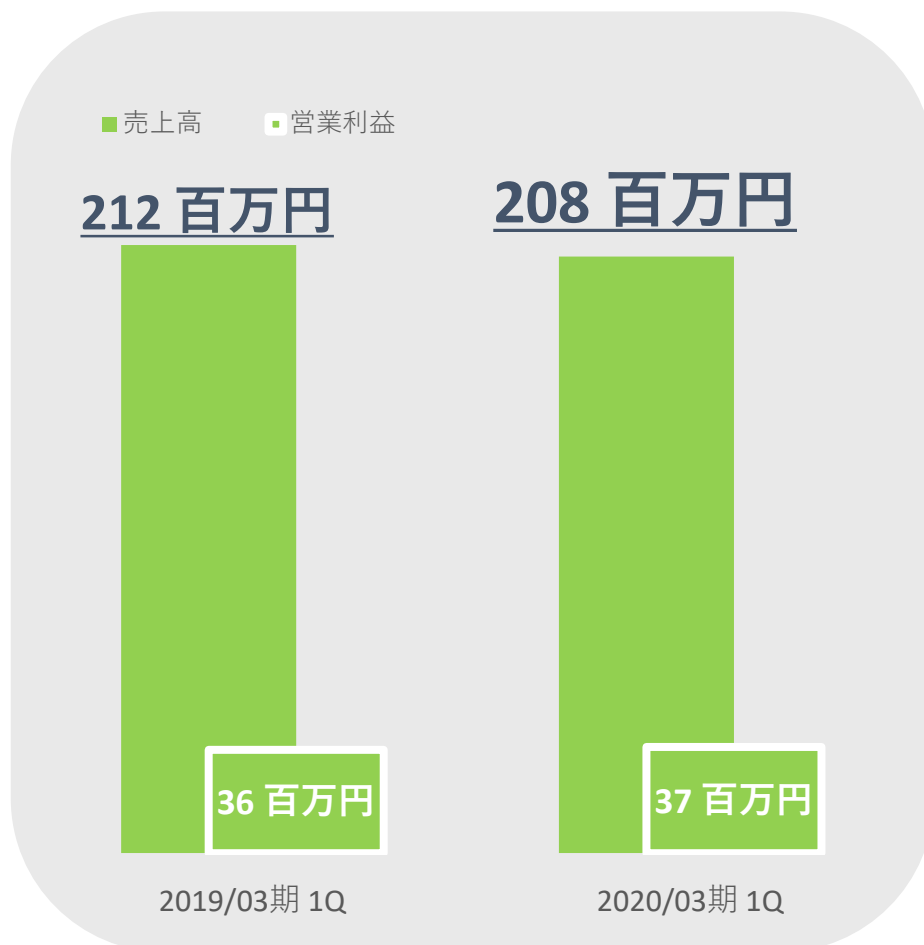
メディア：課金収入堅調



会員数は純増を維持し底堅く推移

※「2019/03期1Q」の数値は、株式会社東京証券取引所の「有価証券上場規程」に基き、監査法人の四半期レビューを受けた2019年3月期第1四半期の四半期財務諸表を基に、参考情報として記載しております。

ソリューション：営業利益率向上

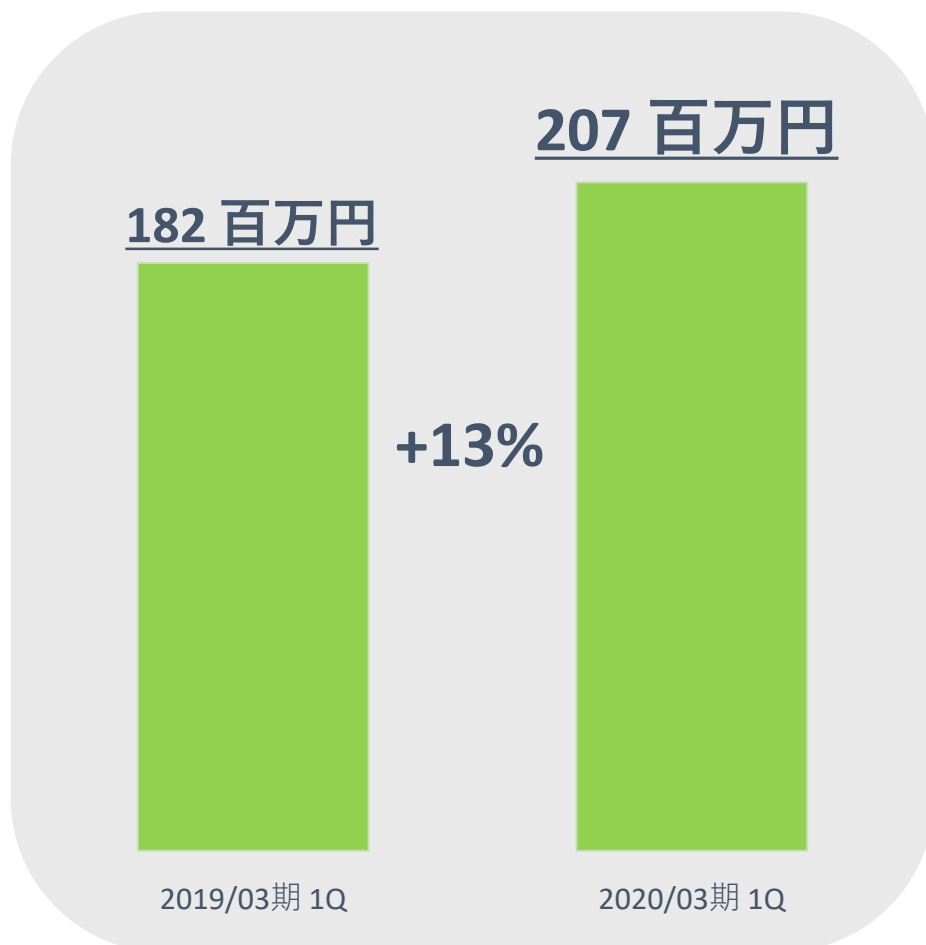


ストック売上の増加が前年同期に発生した大型スポット売上の反動減を相殺

ストック売上の増加により、売上高横ばいも増益を確保

※「2019/03期1Q」の数値は、株式会社東京証券取引所の「有価証券上場規程」に基づき、監査法人の四半期レビューを受けた2019年3月期第1四半期の四半期財務諸表を基に、参考情報として記載しております。

ソリューション：ストック収入13%増



前事業年度の初期スポット売上がその後の月額ストック収入として、収益に貢献

※「2019/03期1Q」の数値は、株式会社東京証券取引所の「有価証券上場規程」に基き、監査法人の四半期レビューを受けた2019年3月期第1四半期の四半期財務諸表を基に、参考情報として記載しております。



01

ビジネスモデル

.....

4

02

2020年3月期1Q実績

.....

15

03

2020年3月期通期計画

.....

26

04

APPENDIX

.....

36

(成長可能性に関する説明資料 (2019年3月19日付))

【2020年3月通期計画テーマ】

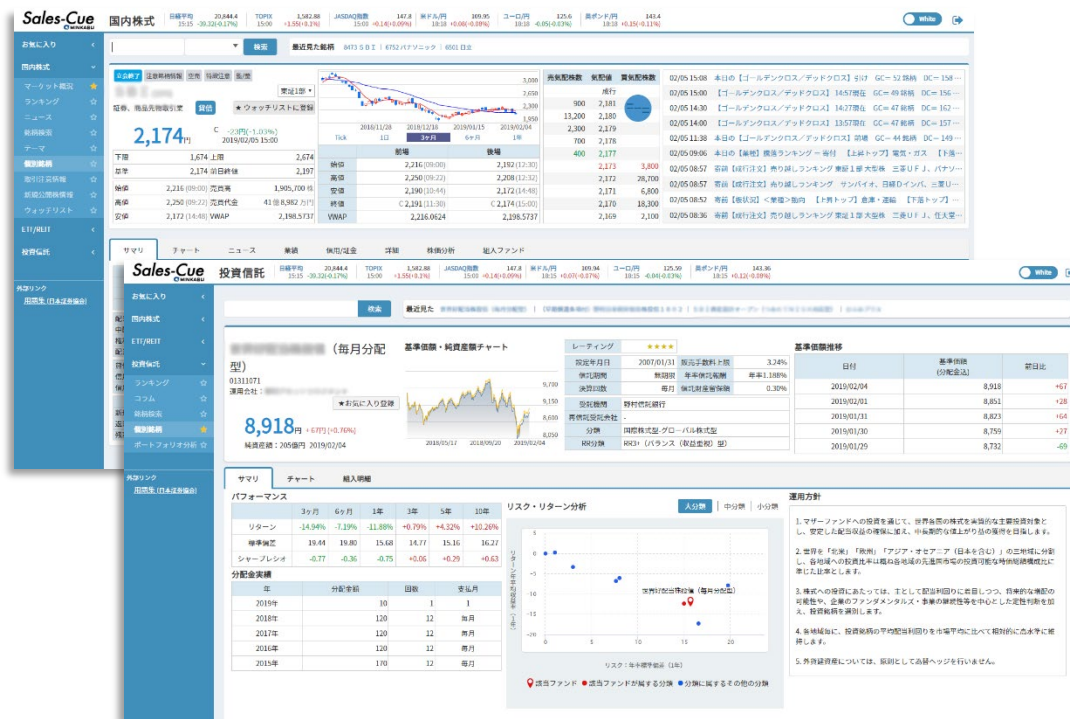
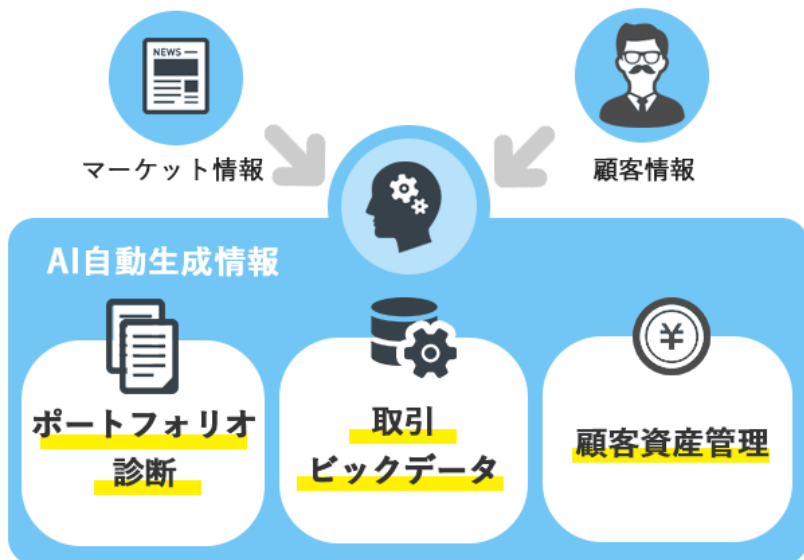
1. 前期に導入したサービスの収益貢献の開始
2. 新しい課金サービスの導入に向けた開発の推進
3. スポーツ情報分野への参入に向けた開発の推進
4. 中長期的な成長、事業基盤の強化を目的とした人員増強
5. 外部パートナーとの提携強化、新規サービスの構築

戦略サービスを投入

Sales-Cue  MINKABU

金融窓口のオムニチャネル化や成果報酬偏重の報酬体系化に伴うノウハウの継承の困難化に対するソリューション

配信情報イメージ



スポーツ情報分野へ参入

スポーツ情報分野参入のポイント

- 国内最大級のスポーツデータベンダーであるデータスタジアム社と協業
- Crowd InputとAIの組み合わせによるボトムアップでのコンテンツ生成により、網羅性・速報性・正確性を兼ね備えたサービス展開
- 自社運営メディア展開と、他社メディアやチームへの情報ソリューション展開の両輪でビジネス化



新しい課金サービスを開発



※サービス名は仮称

□当社運営メディア横断型サイト

□資産形成支援ツール

□幅広いユーザーに訴求

□今期末のリリースを予定

積極的なパートナーシップ戦略を敢行

- 資本業務提携関係にある外部パートナーとのシナジーの創出
- 優良な外部パートナーへの資本参加も含む積極的な連携強化
- JVや協業を中心とした新たな外部パートナーとの新規サービスの構築

資本業務提携先とシナジーを創出

資本提携関係の朝日新聞社、協業関係のYahoo!ファイナンスとの共同開催にて、当社にとって初となる大型イベント「みんなのお金フォーラム2019」を開催

Webサイト



みんなの
お金
フォーラム
2019

2019年9月7日(土)
ベルセール汐留

START 10:00 / CLOSE 18:00
「汐留駅」徒歩5分 / 「新橋駅」徒歩8分 / 「東銀座駅」徒歩9分

共同開催 **朝日新聞** **みんなの株式** **YAHOO! JAPAN** ファイナンス

9月7日(土)開催 国内最大級 個人投資家向けイベント
先着順! 入場料無料! 7月22日 事前申込み開始!

セミナー講演者 (予定)



 取締役 代表執行役社長 齋藤 正勝	 厚切りジェイソン	 楽天証券 代表取締役社長 堀 謙治		
 小次郎講師	 Mr.Hilton	 ミンカブ編集部 株式情報編集長 中村 周一	 ミンカブ編集部 外国為替情報編集長 山岡 和雅	 ミンカブ編集部 商品先物情報編集長 井 成俊

資本参加したウィルズとの連携始動



株主優待制度を新設

保有数・保有年数に応じたポイントを進呈。「株探プレミアム」への交換も可

対象株主様：

- 9月末および翌年3月末に連続して保有し、3月末に500株（5単元）以上を保有された株主様

優待ポイント：

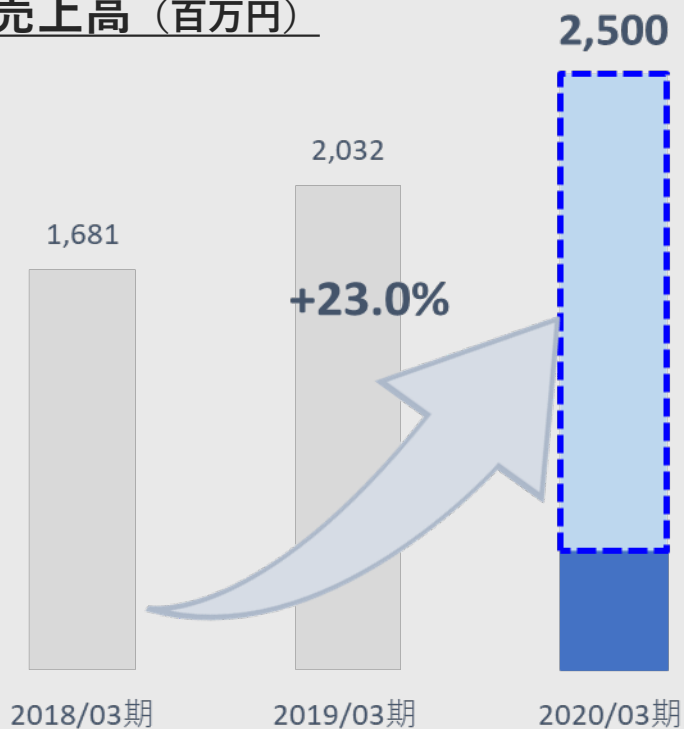
- 保有株式数に応じて進呈
- 継続的に保有される株主様は、ポイントの次年度繰越利用が可能
- 継続的に保有される株主様は、2年目以降、1.1倍のポイント数を進呈
- ポイント交換商品は2,000点以上。交換商品に「株探プレミアム」を加え、株主ユーザー増加に繋げる

保有株数	初年度 進呈ポイント数	2年目以降 進呈ポイント数
500～ 599	2,000	2,200
600～ 699	4,000	4,400
700～ 799	6,000	6,600
800～ 899	8,000	8,800
900～ 999	10,000	11,000
1,000～1,999	12,000	13,200
2,000～2,999	14,000	15,400
3,000～3,999	16,000	17,600
4,000 以上	20,000	22,000

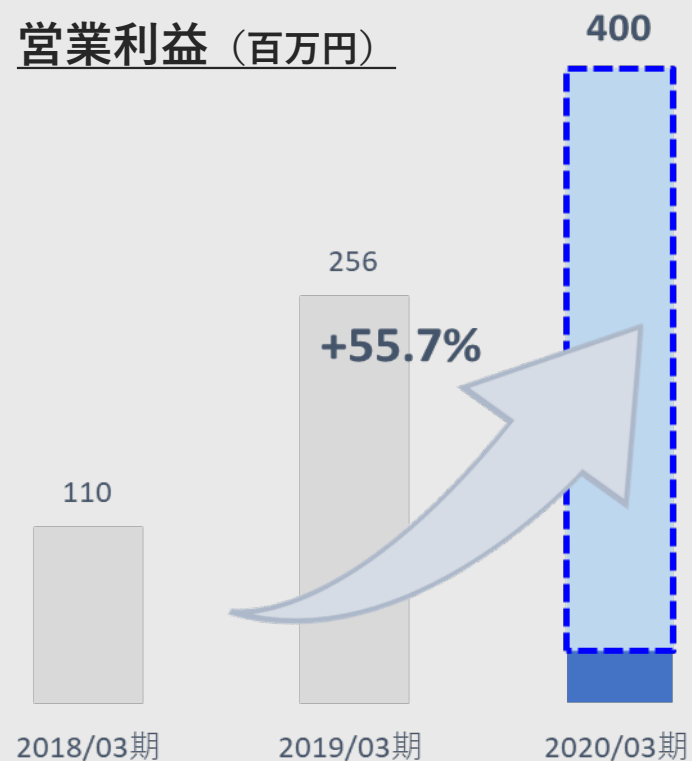
2020年3月期通期計画：23%増収・55%営業増益

メディア事業のトラフィック成長、ソリューション事業の既存商材の拡販・スポット収入の発生時期等に鑑み、前期以上に下期偏重の業績を計画

売上高（百万円）

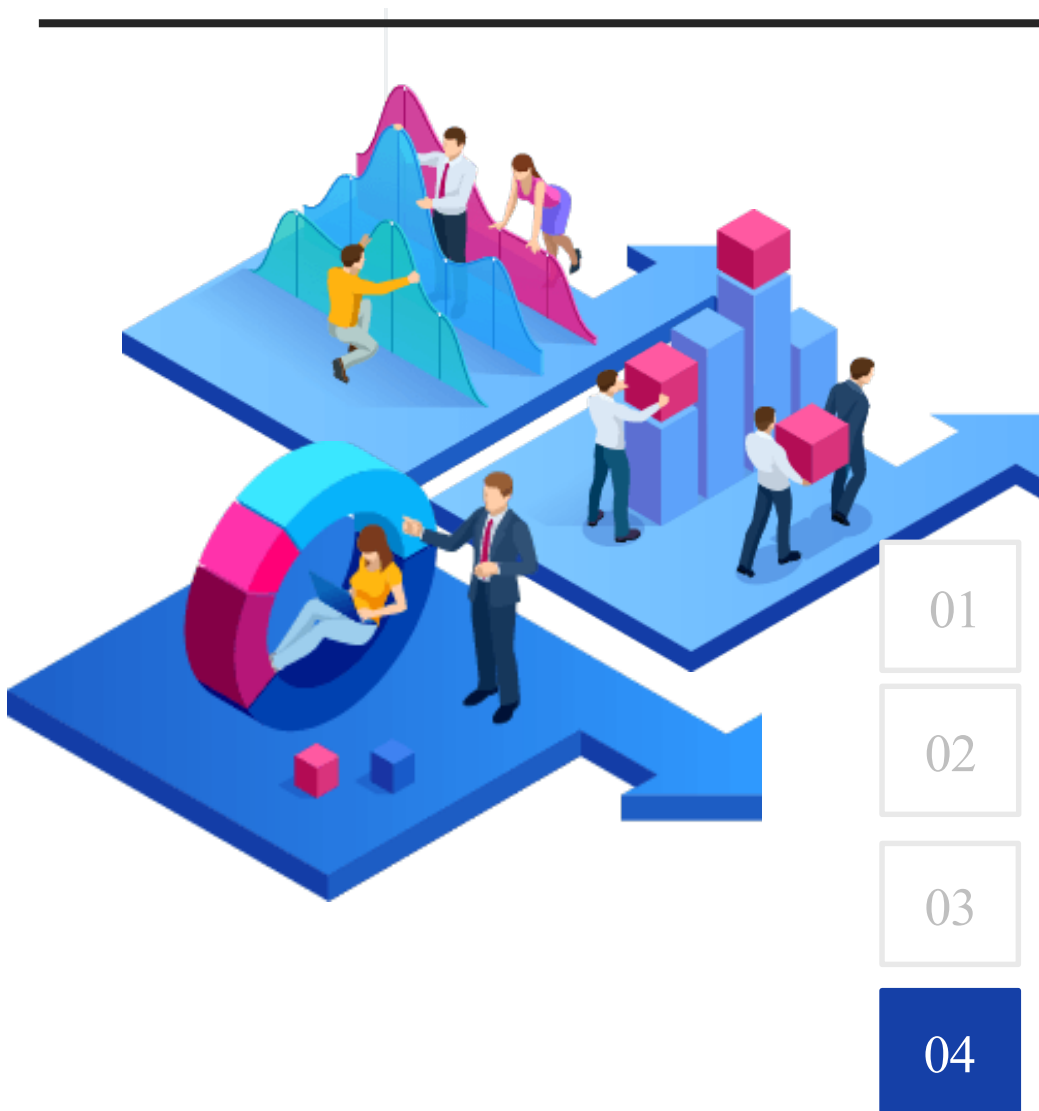


営業利益（百万円）





情報の価値を具現化する仕組みを提供する



01

ビジネスモデル

.....

4

02

2020年3月期1Q実績

.....

15

03

2020年3月期通期計画

.....

26

04

APPENDIX

.....

36

(単位：百万円 / %)

	2018年3月期 (連結)	2019年3月期 (単体)	2020年3月期計画		2019年3月期 1Q (単体) ※ 5	2020年3月期 1Q	
			(単体)	前期比		(単体)	前期比
売上高	1,681	2,032	2,500	+23.0%	430	503	+16.9%
メディア	763	953	1,118	+17.3%	218	294	+35.2%
ソリューション	989	1,078	1,381	+28.0%	212	208	△1.9%
調整額 ※ 1	△ 72	—	—	—	—	—	—
営業利益	110	256	400	+55.7%	12	32	+152.7%
メディア	141	294	411	+39.6%	70	97	+39.4%
ソリューション	237	340	453	+33.1%	36	37	+5.1%
調整額 ※ 2	△ 268	△ 378	△ 465	—	△ 93	△ 103	—
経常利益	71	208	370	+77.5%	14	30	+114.8%
当期純利益	△ 200	253	370	+46.2%	8	19	+128.8%
EBITDA ※ 3	291	494	700	+41.6%	63	102	+60.8%

※ 1 セグメント間の内部売上高の振替高

※ 2 セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用

※ 3 EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却額)

※ 4 当社は2018年3月期に実施した組織再編によりグループを当社に統合し、2018年3月期末において連結対象子会社を有さない非連結会社となっております。

従いまして、2018年3月末時点での連結貸借対照表が存在しないことから、2018年3月期の連結財務諸表にかかる会計監査は実施されておりません。

※ 5 2019年3月期1Qの数値は、株式会社東京証券取引所の「有価証券上場規程」に基づき監査法人の四半期レビューを受けた2019年3月期第1四半期の四半期財務諸表を基に、参考情報として記載しております。

※ 6 百万円未満切り捨て

BS推移

(単位：百万円 / %)

	2018年3月期 (単体)	2019年3月期 (単体)	2020年3月期 1Q	
			(単体)	前期末比
流動資産	815	2,395	1,795	△25.0%
うち 現金及び預金	470	2,045	1,506	△26.3%
固定資産	1,170	1,530	1,622	+6.0%
資産合計	1,985	3,926	3,418	△12.9%
流動負債	560	958	466	△51.3%
固定負債	506	281	245	△12.8%
負債合計	1,066	1,239	712	△42.6%
資本金	801	1,558	1,558	+0.0%
資本剰余金	2,824	3,581	3,581	+0.0%
利益剰余金	△ 2,706	△ 2,453	△ 2,433	-
その他	0	0	0	△91.8%
純資産合計	918	2,686	2,706	+0.7%

※1 当社は2018年3月期に実施した組織再編によりグループを当社に統合し、2018年3月期末において連結対象子会社を有さない非連結会社となっております。

従いまして、2018年3月末時点での連結貸借対照表が存在しないことから、2018年3月期は個別決算数値を記載しております。

※2 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を、2018年3月期期首から適用しており、繰延税金資産は固定資産の区分に含め表示しております。

※3 百万円未満切り捨て

セグメント売上推移

(単位：百万円 / %)

	2018年3月期 (連結)	2019年3月期 (単体)	2020年3月期計画		2019年3月期 1Q (単体)	2020年3月期 1Q	
			(単体)	前期比		(単体)	前期比
メディア事業	763	953	1,118	+17.3%	218	294	+35.2%
広告収入	691	862	1,025	+18.9%	195	273	+40.1%
課金収入	20	50	77	+52.3%	11	15	+28.9%
その他	51	40	15	△60.4%	11	6	△43.6%
ソリューション事業	917	1,078	1,381	+28.0%	212	208	△1.9%
ストック収入	690	782	1,012	+29.4%	182	207	+13.4%
初期・一時売上	227	296	368	+24.3%	29	1	△95.3%
合計	1,681	2,032	2,500	+23.0%	430	503	+16.9%

※ 百万円未満切り捨て



MINKABU THE INFONOID

本資料に記載されている情報のうち、歴史的事実以外の情報は、将来の見通しに関する情報を含んでいます。将来の見通しに関する情報は、当社が現在入手している情報に基づく、現時点における予測、期待、想定、計画、評価等を基礎として記載されており、リスクや不確実性が含まれています。当社は将来の見通しに関する記述の中で使用されている想定、期待、予測、評価ならびにその他の情報が正確である、または将来その通りになるということは保証いたしかねます。本資料に記載されている情報は、本資料に記載の日付に作成され、その時点における当社の見解を反映するものであり、このため、その時点での状況に照らして検討されるべきものであることにご注意ください。当社は、当該情報の作成日以降に発生した事象を反映するために、本資料に記載された情報を逐次更新及び報告する義務を負いません。